



見る  
聞く 日立市民の  
さがす 生涯学習  
夢がある

# 百年塾ひろば

第57号 発行日/2002.3.5  
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部  
編集/百年塾情報部会  
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150  
〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

## 百年塾フォーラム

# 日立の海と山の産業を考える

百年塾産業部会では市民の食生活に密接な関係にある魚、米、野菜などの生産者をパネリストに「日立の海と山の産業を考える集い」をシビックセンターで開きました。集いでは、農業や漁業の活性化の為に関係者から現状と課題の報告を受け、生産者と消費者が意見を出し合いよりよい方向を探るものです。

フォーラムでは、水産業の小泉光彦さん、大貫茂雄さん、農業の古市洋治さん、行政から吉成明産業経済部長の4名のパネリストが現状や問題点を報告。行政、飲食業など参加の市民から熱のこもった意見が交わされました。はじめに農・水産業の現状として、

漁業就業者数は平成12年は235人で昭和52年の約半分。農業専門業者は平成12年は1,447戸5,507人で10年前に比べ700戸2,000人の減となっており、いずれも従事者の高齢化や後継者不足の悩みを抱えています。

また、日立市はアンコウの水揚げが

県内でも有数であることや、新鮮ならどんな魚でもおいしく食べられることなどが意外に知られていないこと。工業都市という日立市の性格から兼業化が進み、耕地面積の減少などにつながっていること。米は地場産が一番おいしいが、流通の関係で地元で消費されないことなどが報告されました。

一方参加者からは、アンコウがどこで食べられるかが分からない。若い年代はもちろんのこと、魚の料理のしかたを知らない人が多い。などの意見が出されました。それらの解決策としては、日立にアンコウの専門店がほしい。全国規模のアンコウフェスタを開催するなど飲食業者や市民が一体となった動きが必要。地元産の良さを積極的にPRするべきである等の意見が出されました。

これに対して漁業者側からは、ここ数年、小学校で出前授業などをして水産業への理解を深めている。今後は魚の料理教室も開きたい。農業者側からは、安心・安全で新鮮な地元産の野菜の提供に努めたいと。また行政からは、日立市は都市型農業に位置付けられているが、地域それぞれに合った政策が必要。これからは第1第2第3次産業と言った区分ではなくなる時代。産業全体を通して考えて行かなければならない、などの発言がありました。

フォーラムの最後にコーディネーターから、手軽に食べられるファーストフードが盛況の現代社会の中で、食材にこだわったり手間をかける「スローフード」のすすめもあり、海と山の産業のみならず食文化をも見直す有意義な集いとなりました。



漁業・農業のさまざまな問題点が語られる

## パーティ料理 食材にこだわる

集いの後、パネリストを囲んで開催された交流パーティでは、日立の海の幸や山の幸にこだわった食材を料理、久慈漁港で水揚げされた、さよりやたこなどの刺身、あんこうのどぶ汁、中里産のそば粉を使った二八そば、異業種18名のチームで育てている、あわびなどに舌鼓を打ちました。

新聞を見て参加をしたという、銚田町と旭村の農業生産者の人たちも「おもしろい企画ですね。自分たちの活動にも取り入れられないかと参加してみ



ました。参考にしたい。」と話していました。

魚を使ったアイデア料理も提供し、料理を応援した久慈町漁協と久慈浜丸小漁協の婦人部の人たちの手際の良さに、パーティを担当した人たちはすっかり魅了されました。

# 地域の人材が大活躍

特技や経験、学習成果を生かして学校支援や芸術・科学など様々な分野で活躍する市民が増えてきました。百年塾が目指すまち全体を学び舎に、市民のだれもがいつでもどこでも学びあう「共育」が定着してきました。

## 学校・幼稚園・保育園で！

百年塾では平成11年度からゲスト



大久保小4年生の総合的学習の時間  
ロシアの料理ボルシチづくり

ティーチャー制度を設け、小・中学校や幼稚園の支援をしてきました。活用を促進するために、市民教授や地域人材のゲストティーチャー登録を積極的に進め、名簿の作成などで人材の情報提供やお互いに活動しやすい条件整備を進めています。

13年度は市内の学校や幼稚園で、多くの地域人材が活用され様々な授業が積極的に進められています。幼稚園では本の読み聞かせのための人材が最も多く活用され、海辺の生き物の名前

や生き方などの学習、親子での木工遊びやリズム遊びなどで多くの人たちが応援をしました。

また、小・中学校ではパソコンやインターネット、ビデオ撮影、点訳などの体験型の授業や、韓国、中国、ロシア、メキシコなどの世界の文化、お茶や琴、尺八などの伝統文化などの学習、環境、歴史など幅広い分野で人材を活用して豊かな授業が行われています。さらに、文化祭や部活動、吹奏楽や合唱指導、総合的な学習の時間などにも多くの人々が支援をしています。

教えることは学ぶこと、さりげない人材活用や相互交流などを通して地域との連携が少しずつ進み、開かれた学校、幼稚園、保育園などが実現しつつあります。



室町時代の茶の湯の学習をする日高小6年生



トールペインティングを楽しむ豊浦中の生徒たち

### ☆日立さくらまつり☆

## 百年塾「昔あそび」コーナー開設

4月6日(土)～7日(日)

平和通りを中心に多くのイベントが開催されます。

百年塾でも昨年のさくらまつりで大人気の「昔あそび」「出合いの休憩所」などのコーナーを設けます。

栴見物の際はお立ち寄りください。

### 百年塾推進委員を募集

4月から推進委員として新たに活動できる方を募集しますので、お気軽にお申し込みください。  
申し込み・お問い合わせ  
百年塾サロン(電話23-9165)へ

#### 14年度総会のお知らせ

■4月26日(金)

午後3時30分～

日立シビックセンター

# 音と心のアンサンブル

## ひたち室内楽フェスティバル

今春、第12回を迎えるシビックセンター会場の「ひたち室内楽フェスティバル」は、地元の音楽愛好家たちが実行委員となり、プロと市民とがともに音楽を楽しむためのさまざまな企画を行っています。

室内楽は、指揮者を持たない少人数

の形式であることから、楽器それぞれの素晴らしさとアンサンブルの魅力を同時に堪能でき、さらにちょっとした空間があれば演奏会ができるという親しみやすさを兼ね備えています。

実行委員会では、こうした室内楽の楽しさをより多くの人に知ってもら

うと、毎年、一流演奏家たちによる音楽ホールでのコンサートや公開レッスン、楽器の展示・体験コーナーなど盛りだく

さんのプログラムを実施してきました。なかでも公開レッスンは、憧れのプロの演奏家から手ほどきを受けられるとあって県外からも受講の応募があり、レベルも年々向上しています。また委員会には日立交響楽団の団員やプロ・アマチュア演奏家のメンバーが多いことから、4月13日のフェスティバルの前に、2月から交代でアトリウムコンサートを開くなどPRに努めています。

超多忙なプロの演奏家への出演依頼、公開レッスンのスケジュール調整などかなり苦勞する面もありますが、音楽を通してプロとアマチュア、参加者と実行委員など、いろいろな人たちとの出会いや交流がフェスティバルの楽しさを倍増させているようです。

春の一日、室内楽の美しい調べに耳を傾けてみませんか。



昨年の公開レッスン風景

# 青少年のための科学の祭典

2月9日、シビックセンターのマーブルホールで「青少年のための科学の祭典・茨城大会」が開催されました。

この祭典は、より多くの子供たちに科学を好きになってもらおうと考える人たちが、ボランティアで集い、つくり上げるイベントです。

「触れて、作って、科学を楽しもう」をテーマに、会場には観察・実験コーナー、ものづくりコーナーなど約40のブースが設けられ、県内各地から訪

れた親子連れなど3千人を超す人で賑わいました。

各ブースの出展や解説などイベントをつくっているのは、学校の先生や企業の現職・退職の人たちです。長年培った専門の知識や技術を生かして、実験やものづくりに腕をふるったり、子どもたちの疑問や好奇心に答えています。子どもたちに科学の楽しさを伝え、夢を大きく育てるために、職場からさらに広い世界へ活躍の場が広がります。



遊ぶ・学ぶ・楽しさいっぱいの各ブース

## ネパールの学校支援

1月26日から2月3日にかけて、市内の学校16校と3団体から寄せられた鉛筆9000本、消しゴム1500個、ノート1700冊の学用品を持って、百年塾の推進委員がネパールを訪問しました。

昨年秋の百年塾フェスタで市民の皆さんから寄せられた基金103,991円に、年間通して寄せられるものを合わせて約20万円を学校の運営資金として寄付しました。

### 市民教授

#### あの人この人

2001.10月～2002.1月に登録された方(敬称略)

- 鈴木正義 石名坂町 (ハーモニカ)
- 平野貞夫 久慈町 (ハーモニカ)
- 澤島和美 森山町 (ハーブアレンジ)
- 五十嵐宏 留町 (水と自然環境)
- 斎藤直子 日高町 (子育てアドバイザー)
- 大泉昭二 田尻町 (パソコン)
- 谷藤金雄 田尻町 (漢詩創作)

市民教授についてのお問い合わせは、

生涯学習課または、百年塾サロンへ  
TEL 23-9165

## パソコンドクター

2001.10月～2002.1月に登録された方(敬称略)

■後藤忠 石名坂町 ■大泉昭二 田尻町  
パソコンドクターは学校などのパソコン診断やクラブ活動での指導など幅広い支援をしています。最近では個人からの依頼も増えています。

お問い合わせは(電話23-9165)へ



# 百年塾ひろば

## 現役記者も好批評

### 百年塾広報セミナー

百年塾広報セミナーが1月19日、市女性センターで行われ、3回シリー

ズの最終回となった今回は広報紙のコンクールを実施しました。



それぞれ各広報紙のできばえを評価

市内の小中学校PTA、コミュニティ、地域社会福祉協議会など、34団体から応募があり力作が揃いました。

審査には茨城新聞社の方にも協力を依頼、

おしくも本部長賞をのがした滑川中PTAに茨城新聞社長賞が贈られました。

また、応募されたすべての広報紙には、来年度へのステップアップに役立てるために、審査員全員が丁寧にコメントを記しました。

表彰では茨城新聞社の根本一美さんが記者としてアドバイス。「市民の視点は実に新鮮、私たちもウカウカしてられない」と会場を沸かせました。

表彰後、審査委員長の古川稔さんが「こうすればもっとよくなる」と題して講演、紙面を読みやすくレベルアップするためには基礎的な知識の習得が大切、などの具体的な話が好評でした。本部長賞 助川小学校 大久保中学校 日高学区市民自治会 日高地区社会福祉協議会

茨城新聞社長賞 滑川中学校

審査委員長賞 田尻小学校 多賀中学校 大みかコミュニティ推進会 坂下地区社会福祉協議会

情報部長賞 仲町小学校 台原中学校 宮田学区市民運動をすすめる会

努力賞 滑川小学校 大久保小学校 河原子小学校 日高小学校 田尻学区市民運動をすすめる会

### 健康講演会

#### 脳梗塞予防血圧がポイント

百年塾では市民の関心が高い健康をテーマに、市内の病院の協力で講演会を開催しています。

12月13日保健センターで、日立さくらクリニック院長工藤純夫さんを講師に「脳梗塞予防法」の話をお聞きしました。参加した70名はスライドを使った分かりやすい話に引き込まれていました。

脳の病気には、脳の血管が詰まって起こる脳梗塞、脳の血管が切れて起こる脳内出血、脳の血管にできたこぶが破裂して起こるくも膜下出血があります。心臓動脈に血栓があると、血栓が脳血管に入り脳梗塞を起こしやすくなり、生活習慣病の高血圧・高脂血症・糖尿病は脳梗塞の引き金になります。そのためには高血圧にならない、なったら血圧を下げる治療をすることが予防法になります。

## 学習から発展したボランティア

### 河原子中学校

「環境」と「福祉」が学校教育に取り入れられ、市内の小中学校では様々なボランティア活動に発展しています。

河原子中学校では、PTAが活動資金のために行ってきた資源回収に、生徒も参加するようになり、毎年夏休み一度、協同で回収を行っています。

集積所ごとにグループを作り、ちらしを配布、集めた資源をPTAが車で学校に運び、生徒の手で完全に分別します。益金はPTAと生徒会の活動資金として使われます。

また、福祉指定校になったとき、あるクラスがアルミ缶回収で車椅子を老人保健施設に贈ったことがきっかけで、昨年からは生徒会がアルミ缶回収に取り組んでいます。自宅のほか、近くの大手スーパーに協力を依頼し、毎週月・

水・金に全校生徒が当番で回収、夏休みは部活単位で行っています。

今年の益金は「地雷撲滅運動」に協力する予定です。

### 大久保中学校

大久保中学校の1年生5名は、調べ学習で塙山コミセンを訪れました。



コミュニティ活動の話をお聞き、実際にお茶出しやコピーなどの仕事を体験しました。数日後に実施した「はなやま健康フェア」には、ボランティアとして参加、スタッフを務めました。